

11月23日(土)祝 霧島ヶ丘公園 3イベント同時開催!!

9:00 ~ 15:30

第43回鹿屋市農業まつり

「西田あい」(始良市出身) 歌謡ショー、
模擬上棟式、振舞い鍋(先着1,000人分)、
豚の丸焼き、乳搾り体験、
スマート農業紹介・体験コーナー、
展示即売会(軽トラ市、農産物販売等)、
竹の貯金箱づくり、しいたけ駒うち など



鹿屋市農業まつり実行委員会事務局
(市農林水産課内) Tel 0994-31-1117



10:00 ~ 15:00 (引き換えは 14:00 まで)

第5回かのや肉焼まつり

手ぶらで気軽に自然の中で焼肉を楽しめるイベント
●肉パック内容 鹿屋産黒毛和牛 150g・
鹿屋産茶美豚 150g・カット野菜・ソーセージ(2本)
※焼肉に必要なコンロ・炭・タレ・皿等は会場に有り
●料金 前売券 1,300円 当日券 1,500円
※前売券の申し込みは 11月8日(金)まで市畜産課で受付
※前売券チケットは後日送付され、イベント当日に支払い



▲昨年度グランプリの「生しらすぜいたく丼」

かのや肉焼まつり事務局(市畜産課内)
Tel 0994-31-1118

前売券
受付中!

10:30 ~ (各店限定 200食)

第5回漁師の逸品! 「おおすみ漁師飯」グランプリ

大隅地域の漁協が自慢の地魚で作る
「おおすみ漁師飯」の販売

●料金 2食つくりチケット 1,000円
※チケットは 10:00 から会場販売

おおすみ水産振興協議会
(県大隅地域振興局林務水産課内)
Tel 0994-52-2165

「食欲の秋」到来!

11月は市内の祭で 農産物を堪能しよう!

星のふるさと輝北まつり 2019

秋祭り

歌謡ショー、抽選会、花火大会
●日時 11月9日(土) 19:00 ~ 21:00
●場所 輝北運動場



輝北まつり

特産品の試食・販売、「中澤卓也」歌謡ステージ、
キャラクターショー、大抽選会、舞台発表、作品展示 など
●日時 11月10日(日) 9:00 ~ 16:30
●場所 輝北運動場、輝北コミュニティセンター
星のふるさと輝北まつり実行委員会事務局(輝北総合支所産業建設課内)
Tel 099-486-1111 内線 2604

第44回くしら黒土祭り

農畜林産物の直売、農産物獲得クイズ、
卵のつかみ取り、ちびっ子ステージショー、
大抽選会 など

●日時 11月23日(土・祝) 9:00 ~ 14:30
●場所 串良平和公園催物広場
くしら黒土祭り実行委員会事務局
(鹿兒島きもつき農業協同組合串良支所内)
Tel 0994-63-2511



第42回美里あいら農業祭

吾平地区内農産物の直売、抽選会、
重量当てクイズ、展示コーナー、
「あいら一番」認定証交付、牛肉販売、
宮下相撲大会 など

●日時 11月10日(日) 9:00 ~ 14:30
●場所 吾平振興会館
美里あいら農業祭実行委員会
(吾平総合支所産業建設課内)
Tel 0994-58-7257



今後の活躍が期待される機器

実証① コンテナの運搬など重労働をアシスト



▲アシストスーツを装着して作業を行う従業員

クボタ製アシストスーツ「WIN-1」

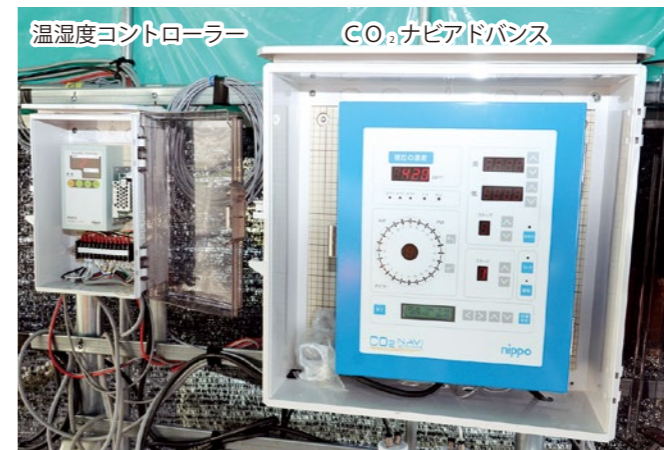


【バッテリー】
1回の充電(約40分間)で135回の連続作業が可能です

串良町有里にある株式会社元幸産業では、一年を通して延べ100haの畑で、サツマイモや大根などを生産しています。農産物が入ったコンテナの運搬が毎日のように行われ、特にトラックへ積み込む作業は、コンテナを高い位置に持ち上げなければならず、とても重労働です。多いときには、1ケース約20kgあるコンテナを約800ケース運搬することもあります。今回、10月1日から約2週間「アシストスーツ」の実証試験に協力していただきました。「アシストスーツを使えば、体全体を使って重い物でも楽に上げ下げをすることができ、腕や腰への負担軽減が期待できる」と話すのは専務取締役の白寒水進一さん。「人手不足で困っているのに、機械でできることは積極的に取り入れたい」とスマート農業への期待が感じられました。



▲▼ハウス内外に設置されている測定器



数値化されるのは、温度、湿度、二酸化炭素濃度、日射量、土壌水分量、飽差(1㎡あたりに含むことができる水蒸気)の6種類。

平成25年に就農し、吾平町麓のビニールハウスでピーマン栽培を営む浅野淳一さん。ハウスでの栽培は気候等の外的要因を受けにくいというメリットがありますが、その分、ハウス内の環境管理を徹底する必要があります。これまで浅野さんは、自身の経験と勘を頼りに管理を行っていましたが、収穫量にむらがあるのが悩みでした。今回導入したのは「統合環境制御装置」。この装置では温度や湿度、二酸化炭素濃度など6種類の項目を数値化し、ハウス内の環境を確認することができ、管理することで、品質の向上と収穫量の増加が期待できる。さらにはデータを蓄積して、勘に頼るだけの農業からの脱却を図りたいと浅野さんは話します。市では、スマート農業を進めていくために、今後も実証試験を行っていきます。

実証② ハウス内の環境を一括管理

実証試験を行うため市内の農家に導入しました